



日本学術会議主催学術フォーラム
安全保障と学術の関係：日本学術会議の立場

◆日 時：平成 29 年 2 月 4 日（土）13：00～17：00（開場：12：30～）

◆場 所：日本学術会議講堂（入場無料・事前登録制・定員 250 名）
（地下鉄千代田線乃木坂駅 5 番出口すぐ・国立新美術館隣）

◆開催趣旨：

日本学術会議は 1950 年、1967 年に「戦争を目的とする科学研究」を行わないとの声明を発した。近年、軍事と学術が各方面で接近を見せる中、民生的な研究と軍事的な研究との関係をどうとらえるかや、軍事研究が学術の公開性・透明性に及ぼす影響などをめぐって審議すべく、「安全保障と学術に関する検討委員会」が設置された。同委員会の中間報告を受けて審議の状況等を紹介するとともに、内外から意見を聴取するため、学術フォーラムを開催する。

◆プログラム：

総合司会 大政 謙次（日本学術会議第二部会員、東京大学名誉教授、愛媛大学大学院農学研究科客員教授、高知工科大学客員教授）

13：00-13：05 開会挨拶

挨拶 大西 隆（日本学術会議会長・第三部会員、豊橋技術科学大学学長、東京大学名誉教授）

<第Ⅰパート：委員会中間とりまとめの状況報告>

13：05-13：35 委員会中間とりまとめの状況報告

杉田 敦（日本学術会議第一部会員、法政大学法学部教授）

<第Ⅱパート：日本学術会議の内外の意見>

進行 小松 利光（日本学術会議第三部会員、九州大学名誉教授）

13：35-13：50（演題調整中）

兵藤 友博（日本学術会議第一部会員、立命館大学経営学部教授）

13：50-14：05 「学術研究のために」という視点

須藤 靖（日本学術会議第三部会員、東京大学大学院理学系研究科教授）

14：05-14：20（演題調整中）

佐野 正博（日本学術会議連携会員、明治大学経営学部教授）

14：20-14：35 軍民両用（デュアルユース）研究とは何か—科学者の使命と責任について

福島 雅典（日本学術会議連携会員、財団法人先端医療振興財団臨床研究情報センター長（兼）研究事業統括）

14：35-14：50 防衛技術とデュアルユース（予定）

西山 淳一（公益財団法人未来工学研究所 政策調査分析センター研究参与）

14：50-15：05 安全保障と学術について（予定）

根本 清樹（朝日新聞社論説主幹）

15：05-15：20（休憩）

<第Ⅲパート：総合討論>

進行 杉田 敦（日本学術会議第一部会員、法政大学法学部教授）

15：20-16：55 総合討論

（学術フォーラム参加者と安全保障と学術に関する検討委員会委員による質疑応答）

16：55-17：00 閉会挨拶

挨拶 花木 啓祐（日本学術会議副会長・第三部会員、東京大学大学院工学系研究科教授）

17：00 閉会

◆参加申込：

※定員に達したため、受付を終了致しました。

参加申込を受け付けた申込者には、事務局から受付番号を連絡します。受付番号がない方の当日入場はできません。何卒ご了承ください。

◆本件問い合わせ先：

日本学術会議事務局 審議第二担当 TEL：03-3403-1082 FAX：03-3403-1640